

# 農林水産・建設委員長報告

議案5件を原案可決

(下田利春委員長)

**【議案第86号】南島原市公共下水道開田雨水ポンプ場の建設工事委託に関する協定の締結について**

**【質疑】** ポンプ場裏の開田公園は、昔の潮溜りを公園化しており、大雨の時、オーバーフローし民家の床下まで浸水するのではないのか。公園として機能していないみたいだが、一部をもう少し掘削すれば、少しは余裕をもって大雨に対応できるのではないのか。

**【答弁】** 開田公園からのオーバーフロー分は、現在、2号機・3号機が設置されている。今回の1号機の増設で雨水対策は改善されると思っている。

**【議案第95号】市道の路線変更について**

**【質疑】** 場所はどの辺か。

**【答弁】** 堀之内である。

**【質疑】** 堀之内と言っても分からない。

**【答弁】** 有家庁舎から鬼塚の方へ行く、その手前の方から左に入っていく。

ば熊野神社がある。そこが所である。

**【議案第97号】平成29年度南島原市一般会計補正予算(第4号)**

**【建設部関係】**

**【質疑】** 災害は、昨年、28年度の災害と言われたか。

**【答弁】** 今年のゲリラ豪雨である。

**【質疑】** すべてが河川災害復旧工事との説明で、河川の背後地が農地であり、来年度の耕作に支障・迷惑を来たさないため、作付け前に復旧工事を行うための補正とのことだが、年度内に間に合うのか。

**【答弁】** 年度内に終わるよう、頑張っていくつもりである。

**【質疑】** 維持補修等の要望は、現在何件ぐらい上がっているのか。

**【答弁】** 要望件数としては、今年75件を計画していた。現在、工事発注や修繕で対応しているの

が45〜50件である。

**【質疑】** 今回1,000万円の補正が、大体何件ぐらい予定しているのか。

**【答弁】** 1,000万円は、1件50万円の20件を根拠に補正をお願いしている。

**【水道部関係】**

**【質疑】** 農地集積は、圃場整備区域外でも取り組んでいるということか。

**【答弁】** 基本的には嘱託の方に回って頂き、農地集積を進めている。

**【議案第99号】平成29年度南島原市簡易水道事業特別会計補正予算(第2号)**

**【質疑】** 県交付金から国庫補助金に財源組み替えになった説明を。

**【答弁】** 県の交付金は申請額の約76%、国庫補助金は28年度の繰り越し予算を使って、満額交付できるということで変更させていただいた。

☆その他の付託案件

**【議案第94号】市道の認定について**

# 農林水産・建設委員会視察研修報告

平成29年11月6日(月)〜8日(水)

今回、埼玉県宮代町・秩父市等を視察・研修した。

**【宮代町】「耕作放棄地解消への取り組み及び担い手の確保について」研修**

宮代町では、農業委員会内に「遊休農地解消対策研究会」を立ち上げ、自ら解消し、新規就農者等に農地を繋いでいる。

初年度から5反の農地を与え、3年育成とする町独自の「農業担い手塾」という新規就農者支援事業も実施され、あわせて「支援委員会」を結成し、各種相談、技術支援、販売支援を行っている。

中でも、里親農家は特色ある制度で、技術指導農家、農業機械等の貸出農家を登録し、農業経営基盤の無い塾生を支援し、13年間で15人の新規就農に繋げている。

また、農業委員等に関する法律の一部改正に伴い、既に新制度に移行されており、農業委員と農地利用最適化推進委員の選考方法や、連携等について研修を行った。

**【秩父市】「土地改良事業に伴う中山間地域における地域活性化の取り組みについて」研修**

秩父市では、約20ヘクタールのうち、4分の3が耕作放棄地だった「兔田暮坪地区」の圃場整備時の取り組みについて研修。

土地改良事業で、耕作放棄地は解消されたが、農業後継者不足に変わりはなく、地域ぐるみの保全活動を進めるべく「環境保全協議会」を設立し現在に至っている。

入。大麦やぶどう、エゴマを生産・加工し、地域活性化に貢献している。企業参加が、耕作放棄地の発現の抑止と、雇用の創出に繋がっている。

**【ふるさと帰郷支援センター】の現状について**

都会から地方への定住を希望する青・壮年世代には、新規就農支援等の就業支援策が必要となっている。

今回の視察では、参考にするべき点が多く、今後の本市の施策に活かせるよう提案、提言していきたい。



宮代町での研修の様子